

前期基本計画 平成30年度 施策方針評価書

政 策：04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

基本施策：01 都市づくりビジョンの策定

施 策：02 安全で快適に暮らせる住環境の整備

施策担当職・氏名 都市政策課 総括主査 佐藤 志貴

1. 施策の平成30年度までの実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

建築物、木造住宅耐震診断、被災者支援など個々の建物に関する総合的な施策により、相対的に各地域や全市を安全で快適に暮らせる都市にすることを目的とします。

(2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成30年度	進捗率(%)	
1	暮らし 新規住宅着工数 単位 戸	288	250	250	280	300	300	A	
			308	250	378	417	417	1,075.0	
2	幸福 地域の居心地が良いと思っている人の割合 単位 %	62.9	63	64	66	68	68	D	
			61.9	62.8	67.4	64.4	64.4	29.4	
	単位								

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推 移	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1	1107 市営住宅管理運営事業 市営住宅入居率 単位 %	目標値	100	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100	-	-
	単位	目標値						
		実績						
	単位	目標値						
		実績						
	単位	目標値						
		実績						
	単位	目標値						
		実績						

前期基本計画 平成30年度 施策方針評価書

政 策：04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

基本施策：01 都市づくりビジョンの策定

施 策：02 安全で快適に暮らせる住環境の整備

施策担当職・氏名 都市政策課 総括主査 佐藤 志貴

2. 施策の実現に向けての平成30年度までの取り組み状況を分析する

(1) 施策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none">住宅関連施策については地震対策や被災者支援などについて事業実施を行いました。空き家対策については、市内の空き家の現地調査を実施し、管理に課題のある空き家を抽出するとともに、「空き家の適正管理に関する協定書」に基づく取組を進めました。	

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成30年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
【重点課題】 大震災被災者支援や木造住宅耐震対策のほか、空き家対策、市営住宅の維持など、既存施設の対応について課題と方針を考える必要性が生じてきました。	
【重点課題に対する達成状況】 ・空き家対策については、市内の空き家の現地調査を実施し、管理に課題のある空き家を抽出しました。	

3. 施策の実現に向けての平成30年度実施後での変化を認識する

(1) 施策の実現に影響する社会環境変化

A	社会環境変化なし
当施策に影響する社会環境変化はありません。	

(2) 基本施策との関連性から施策の見直し

A	必要なし
基本施策達成のため、引き続き同一の施策の実施が必須であるため、見直しの必要はありません。	

4. 施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 平成30年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
【今後の方向性】 ・引き続き安全で快適に暮らせる住環境の整備を取り組みます。	
【引継課題】 ・耐震事業については、基準年から36年以上経過しているため事業の推進について検討する必要があります。	
・空き家対策については事業の困難性から市としてのあり方について検討する必要があります。	

